

留萌本線に関する
要 望 書

平成27年12月10日

留萌市議会議長 野崎良夫

北海道旅客鉄道株式会社（以下「JR北海道」という。）は、留萌本線（留萌・増毛間）の平成28年度中の鉄道事業廃止について、留萌市と増毛町に提示してきたところであります。

今回の突然の提示とその後の来春に向けた道内各路線の減便等の提案については、留萌市民はもとより、留萌本線の沿線住民、ひいては北海道民の生活路線及び観光路線として、その生活や経済活動に重大な影響を及ぼすものであり、昭和62年の羽幌線廃止を経験した留萌市議会と市民に驚きと、留萌本線の将来展望や地域の過疎化に対する大きな不安を招く結果となっているところであります。

更には、現在、国を挙げて取り組んでいる地方創生への影響も危惧されることから、留萌市議会はJR北海道に対して、安心して住み続けられる地域の公共交通としての鉄道交通網の確立を求めるため、次の事項について強く要望いたします。

記

- 1 結論ありきの廃線（減便）提案とならないよう、それ以前において沿線自治体との連携を強化し、路線の展望等について十分な協議・検討を行うこと。
- 2 安全の確保は勿論のこと、北海道における鉄道事業の経過を踏

まえ、単なる収益性の優先や赤字路線の切り捨てる措置ではなく、
改めてJR北海道が果たすべき社会的な使命に配慮され、「安易な
路線の廃止」とならないよう真摯に経営改善に取り組むこと。

- 3 留萌本線は、深川から増毛までの生活路線であることの重要性
と意義を今一度考慮すること。

平成27年12月10日

北海道旅客鉄道株式会社
代表取締役 島田 修 様

留萌市議会
議長 野崎 良夫